

施策マネジメントシート(平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成 25 年 6 月 26 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	子育て健康課
				課長	関 章二
施策	3	子育て支援の充実	関係課	教育課(生涯学習推進)	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図
				①町内の子ども ②保護者・子どもを授かろうとする夫婦	①心身ともに健やかに育つ。 ②安心して子どもを産み、育てられる。	1
			2	子どもの発達支援	町内の子ども	社会性が育つ。
			3	子育ての精神的負担の軽減	保護者・子どもを授かろうとする夫婦	子育ての精神的な負担が軽減される。
			4	子育ての経済的負担の軽減	保護者・子どもを授かろうとする夫婦	子育ての経済的な負担が軽減される。
			5	子育てと仕事の両立	保護者・子どもを授かろうとする夫婦	子育てと仕事を両立できる。

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じる保護者の割合	%		実績値 88.1 目標値	92.8 88.4	
B	定期健診受診率(1歳6か月児/3歳児)	%		実績値 94.1/98.3 目標値	94.3/88.7 94.5/92.0	96.3/93.8	96.3/93.8	96.3/93.8	96.3/93.8	96.3/93.8
C	子育て支援団体数、会員数	団体、人		実績値 2/34 目標値	3/49 3/54	4/60	4/60	5/70	5/70	5/70
D	第1希望の保育所に入所できなかった乳幼児数	人		実績値 8 目標値	12 10	10	10	0	0	0
E	出生数 合計特殊出生率	人		実績値 104/1.27 目標値	92 / 100/1.27	96/1.31	92/1.35	88/1.40	84/1.44	80/1.48
F				実績値 目標値						

**指標設定の考え方**

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。  
町民アンケートにより把握(18歳未満のお子さんがある方が対象)  
※自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合。  
B) 定期健診の受診率が安定して高ければ、早期の発達支援に繋がると考え成果指標とした。  
主管課が把握  
C) 保護者と子どもが利用しやすい環境を構築すれば、子育ての負担軽減に繋がると考え成果指標とした。会員数とはスタッフ数のこと。  
主管課が把握  
D) 数値が低くなれば、安心して子どもを産み育てられるようになっているといえるため成果指標とした。  
主管課が把握  
E) 数値が高まれば、安心して子どもを産み育てられるようになっているといえるため成果指標とした。  
人口動態統計による※1月～12月の数値(出生数の速報値6月中旬発表、合計特殊出生率は9月発表)

**目標値設定の考え方**

A) 平成23年度数値を未就学児がいる世帯に限り算出すると93.1%であり、過去4年間の数値はほぼ横ばいといえる。そのため成り行き値は平成23年度数値の88.1%で推移。すでに高い数値であり、今後大幅に増加させることは困難と考えるが、子育て支援サービスを充実させるなどして平成29年度90%をめざす。  
B) 成り行き値は、対象人数が少なく実績にばらつきがあり、数値が見込みにくいいため実績の平均値で設定。目標値は、利根沼田平均の水準である成り行き値2%増の維持を目標とする。【県平均:93.7%/92.1%(H23)、利根沼田平均:96.4%/93.9%(H23)】  
C) 団体数・会員数は増加しており子育て支援の拠点が広がっている。平成24年度に1団体増えたことで、成り行きでは3団体54人で推移。平成25年度に水上地区に1カ所開設予定、更に保護者が利用しやすい身近な距離にある拠点を開設する必要があり、平成29年度5団体70人以上をめざす。  
D) 入所できない実績値は月夜野保育園を第1希望とする児である。今後とも月夜野地区の保育の需要集中が継続することが想定されるため、成り行きでは10人で設定する。平成27年度までに施設の整備計画を実現させ第1希望の保育所に入所できるよう改善をめざす。  
E) 国勢調査等の数値から判断して、成り行きでは毎年5人づつ減少で推移。減少人数を毎年4人に抑制し、平成29年度80人以上をめざす。子どもを産み育てる両親が実感できる子育て支援策を実現し、合計特殊出生率は利根沼田平均値1.48をめざす。【国平均:1.39(H23)、県平均:1.41(H23)、利根沼田平均:1.48(H23)】

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①子育てについての不安解消、情報交換、ストレス解消等ができる仲間づくりを積極的に進める。 ②基本的な生活習慣や規範を身につけさせたり、定期健診や予防接種などを受けさせるなど、親としての責任・義務を認識して子育てに取り組む。 ③子どもたちに声をかけたり、子どもを育成する活動に参加したり、子どもを見守る活動に協力するなど、地域で子育て支援に関わる。	①定期健診や予防接種など健康増進を実施する。 ②地域社会が子育てをあたたく見守る体制の基礎をつくる。 ③保護者への経済的な支援を行う。 ④子育てと仕事の両立を支援する。 ⑤悩みごと相談など、すべての親がゆとりを持ち、安心して子育てできる環境をつくる。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①子ども・子育て支援新制度について、平成27年度から本格施行が予定されているが、保育園、幼稚園の保育料改定や給付費・交付金管理等に伴うシステムの導入は、この新制度が消費税率引き上げによる財源を確保することが条件であり、税率改正の動向により施行年度が遅れる可能性がある。 ②対象者(子ども)が年々減少している。 ③インターネットや携帯電話・スマートホンの普及など、青少年を取り巻く環境が急激に変化している。(情報の入手が容易、悪影響を与えるものが増加)	①子育て支援に対する要望が増えている。また、病後児保育やファミリーサポートなど、保育ニーズの多様化に対応できる質の高い保育体制が求められている。 ②少子化のため近所に友達がいない状況であり、地域子育て支援センターのような親子で集まれる場所や気楽に相談できる場が求められている。 ※町民アンケートによると、出産や子育てに対する不安の具体的内容は、①経済的な負担83.2%②自分の体力や精神力25.5%③育児と仕事の両立44.4%となっている。また、自由記述欄には、子どもの遊び場整備、保育施設・内容の充実、生活支援の充実などを求める意見が寄せられている。

施策	3	子育て支援の充実	主管課	名称	子育て健康課
				課長	関 章二

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①自分の子どもが心身ともに健やかに育っていると感じている保護者の割合は、平成23年度88.1%から平成24年度92.8%と上昇し、比較的高い水準にある。地区別にみると、月夜野地区で高い割合(95.0%)となっているが、学童保育施設の増設、月夜野幼稚園の預かり保育が利用できることなどが要因と考えられる。</p> <p>②出産や子育てに不安を感じている保護者等の割合が、平成23年度69.7%から平成24年度66.7%と3.0ポイント減少している。景気の上昇が感じられず、また就労環境の改善が進展していないことなどが要因として考えられる。地区別にみると、月夜野地区72.3%、水上地区62.7%、新治地区62.3%と、月夜野地区で高い割合となっている。</p> <p>③出生数は平成23年度104人、平成24年度92人と12人減少し、出生率は平成22年度5.0%、平成23年度5.0%と横這となっている。また、合計特殊出生率については平成22年度1.22から平成23年度1.27に上昇しているが、依然として晩婚化や未婚化の進展が大きな要因と考えられる。</p>
		② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。
	③ 目標の達成状況		<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。
成果実績に対する総括		<p>①にいほるこども園2階に開設している常設の子育てひろば「汽車ポッポ」において、子育てについての相談や援助を行い親子の交流の場を提供。また、月1回保健師のミニ講座を開催。年間利用者数は、平成23年度7,769人、平成24年度7,776人と増加している。</p> <p>②不妊治療助成事業については、平成24年度では11件の補助を行った。うち4件の妊娠が報告されている。</p> <p>③のびのびサークルは、きめ細かな療育が行えるよう年齢を分けて月2回開催。参加延人数は、3歳未満児が114人、3歳以上児が114人であった。</p> <p>④ママヨガ教室は、上の子の保育ができるよう、平成24年度からみなかみ町地域子育て支援センターに会場を移動し、参加し易いよう別の事業の共催事業として開催した。(年間延べ参加人数 平成23年度 妊婦16人、産婦17人 平成24年度 妊婦36人、産婦84人)</p> <p>⑤平成24年度にNPO法人北風塾が子育てひろば「ほかほか」を上牧地区に開設し、週3回の活動を行っている。平成24年度利用者数は451人。</p> <p>⑥子育て世代の定住化を促進する目的で平成24年12月から子育て家庭住宅新築補助金制度を開始。平成24年度では、2件の方が新築された。</p> <p>⑦矢瀬親水公園にある大型遊具ローラースライダーが老朽化したため撤去し、新たに安全性の高い大型遊具を設置した。子どもたちに安全で楽しい遊び場を提供することで子育て環境の向上に資することができた。</p> <p>⑧青少年による通学時間帯に学校の校門付近であいさつ(声かけ)を行う「あいさつ運動」を平成23年度より実施。平成24年度は3回(7、10、3月)実施し、ほぼ全員の方が参加。地域で青少年を見守るという意識付けができた。</p>	

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成26年度の取り組み方針(案)	
	1	子どもの健康増進	乳幼児健診について保護者から要望の声があるため、健診体制の改変が必要である。 ここ数年、予防接種の種類が増え、予防接種の副作用等の問題も取り上げられている。保護者への正確な情報提供が課題である。	管内の他市町村と連携し、スムーズに健診日程の調整を図る。また、医師の確保が前提となるが、午前中の実施について検討し、受診率の向上に繋げる。 関係機関と密に連絡をとり、健診場面や広報などで、予防接種に関する正しい情報を保護者に提供していく。
	2	子どもの発達支援	子どもの発育・発達に不安を感じている親の支援をするため、育児相談や発達相談会等を充実させていく必要がある。 保護者の不安を解消するためタイムリーに相談会が開催できるように小児科医師、臨床心理士、言語聴覚士などの専門職を継続して確保できる体制を整えていくことが課題である。	言語聴覚士等の専門職を常勤で確保するため、町の職員としての採用を検討し、保護者の不安をタイムリーに解消できるようにする。
	3	子育ての精神的負担の軽減	身近な地域で子育て親子の交流機会を提供する場や、子育ての情報を得る場が少ない。 児童虐待を未然に防ぐ環境を整備することなどが課題である。	子育て支援センター、子育て支援団体を中心としたネットワークづくりを推進し、親子の居場所づくりである子育て拠点を各地区にバランスよく設置する。また、新たに活動を考えている団体や個人を支援する。 地域・保育園・学校等の関係機関と連携を図る。児童虐待問題をもっと住民に知ってもらうための活動等を実施する。
	4	子育ての経済的負担の軽減	平成27年度施行の子ども・子育て新制度の導入により、保育料の単価改正及び給付制度も改正され、保護者の負担増が懸念される。 不妊治療費助成事業について、国では、対象者の年齢制限を設ける必要性などの検討をしていることから、今後の助成内容が後退することが懸念される。	新制度にあわせた保育園、幼稚園の保育料単価改正を行い、同時に現行より保護者の負担が多くなる場合などは、町の軽減制度を見直ししていく。 不妊治療費の市町村独自の助成について近隣市町村の状況を調査して、必要に応じて本町の見直しを検討する。
	5	子育てと仕事の両立	第1希望の月夜野保育園に入所できなかった児童について、保育施設が手狭のため現状では入所できない。 子育てと仕事の両立が厳しい環境にある保護者が増加している。	保護者の入所希望に沿った保育施設の整備が必要であり、子どもが快適で安全に過ごせる施設を整備し、待機児童の解消を図る。